



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 元裕
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 溝口 健二 (TEL) 03-3820-1111
四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	40,420	6.7	3,510	4.0	3,384	11.0	2,145	14.5
29年3月期第3四半期	37,875	△3.2	3,376	△7.2	3,049	△4.8	1,873	3.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,963百万円(△6.8%) 29年3月期第3四半期 3,179百万円(30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	201.89	—
29年3月期第3四半期	176.30	—

※ 平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株の割合で株式併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	95,833	38,612	37.3	3,368.80
29年3月期	94,054	36,268	35.7	3,164.45

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 35,793百万円 29年3月期 33,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,400	2.4	4,290	△6.4	3,860	△5.5	2,460	△6.1	231.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	11,344,181株	29年3月期	11,344,181株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	719,190株	29年3月期	718,728株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	10,625,226株	29年3月期3Q	10,626,054株
----------	-------------	----------	-------------

※ 平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株の割合で株式併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、食品部門・情報部門の増収により、売上高は404億20百万円（前年同期比6.7%増）となり、営業利益は35億10百万円（同4.0%増）となりました。また、経常利益は受取配当金の増加と支払利息の減少に加え、テナント退去による違約金収入の増加もあり33億84百万円（同11.0%増）となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億45百万円（同14.5%増）となりました。

②セグメント別の概況

<物流部門>

物流部門では、国内の荷動きがやや戻り全般的には堅調に推移したものの、一部大口荷主との取引内容見直し等の影響により、不動産賃貸関連の売上が減収となったこと等から、売上高は158億70百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は23億78百万円（同1.7%減）となりました。

<食品部門>

食品部門では、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は、主要産地である東北・関東を中心に取引価格の高騰から取扱数量がのびず18千玄米トン（前年同期比1.6%減）となりましたが、量販店・外食向けである精米販売は56千玄米トン（同5.9%増）と増加しました。この結果、総販売数量は74千玄米トン（同3.9%増）となりました。売上高は、販売数量の増加に加え、取引価格の上昇により203億1百万円（前年同期比14.5%増）となりました。営業利益は、精米販売が好調だったことに加え、業務効率化等によるコスト削減効果も加わり4億48百万円（同147.0%増）となりました。

<情報部門>

情報部門では、基幹系システムを中心とした開発・保守業務が堅調に推移し、売上高は15億81百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、営業利益につきましては、棚卸用ハンディターミナルのレンタル事業での減収等により89百万円（同14.5%減）となりました。

<不動産部門>

不動産部門では、大口テナントの入れ替わりに伴う稼働率の低下等により、売上高は26億66百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益11億91百万円（同9.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

資産合計は、建物及び構築物や土地が減少しましたが、現金及び預金や投資有価証券が増加したこと等から、前連結会計年度末比17億79百万円増加し、958億33百万円となりました。

②負債

負債合計は、社債や長期借入金が増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金や1年内償還予定の社債が減少したこと等から、前連結会計年度末比5億64百万円減少し、572億21百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前連結会計年度末比23億43百万円増加し、386億12百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までは、売上高については食品部門でのコメ相場環境の影響から計画を上回りました。また、利益面においても全体として概ね計画を上回り推移いたしました。しかしながら今後を展望しますと、食品部門における平成29年産米の価格動向の収益面への影響や各部門の経営環境の厳しさも予想されることから、平成29年5月12日に発表した通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,295	3,666
受取手形及び売掛金	5,833	6,233
たな卸資産	1,578	1,829
その他	698	653
貸倒引当金	△0	△40
流動資産合計	10,404	12,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,351	13,996
土地	50,737	50,506
その他(純額)	6,772	6,605
有形固定資産合計	71,861	71,109
無形固定資産		
投資その他の資産	1,111	1,096
投資有価証券		
投資有価証券	9,412	10,147
その他	924	818
貸倒引当金	△35	△34
投資その他の資産合計	10,301	10,931
固定資産合計	83,274	83,137
繰延資産	375	354
資産合計	94,054	95,833
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,732	2,666
短期借入金	4,043	4,608
1年内返済予定の長期借入金	2,485	1,984
1年内償還予定の社債	2,845	1,469
その他	2,749	2,354
流動負債合計	14,856	13,083
固定負債		
社債	14,500	15,054
長期借入金	16,742	17,074
環境対策引当金	8	8
退職給付に係る負債	1,658	1,677
その他	10,019	10,323
固定負債合計	42,929	44,138
負債合計	57,785	57,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,694	3,697
利益剰余金	15,314	16,950
自己株式	△1,815	△1,816
株主資本合計	27,748	29,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,558	4,102
土地再評価差額金	2,383	2,361
退職給付に係る調整累計額	△67	△57
その他の包括利益累計額合計	5,874	6,406
非支配株主持分	2,645	2,819
純資産合計	36,268	38,612
負債純資産合計	94,054	95,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
営業収益	37,875	40,420
営業原価	32,073	34,349
営業総利益	5,801	6,070
販売費及び一般管理費	2,425	2,559
営業利益	3,376	3,510
営業外収益		
受取配当金	213	254
違約金収入	0	119
その他	20	15
営業外収益合計	233	389
営業外費用		
支払利息	495	443
その他	65	72
営業外費用合計	560	516
経常利益	3,049	3,384
特別利益		
固定資産売却益	57	17
その他	-	0
特別利益合計	57	17
特別損失		
固定資産除却損	3	1
その他	0	0
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	3,103	3,400
法人税等	990	1,024
四半期純利益	2,113	2,376
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	230
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,873	2,145

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,113	2,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,060	577
退職給付に係る調整額	5	9
その他の包括利益合計	1,065	587
四半期包括利益	3,179	2,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,860	2,698
非支配株主に係る四半期包括利益	318	264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	15,930	17,735	1,513	2,695	37,875	—	37,875
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	326	—	187	20	535	△535	—
計	16,257	17,735	1,700	2,716	38,410	△535	37,875
セグメント利益	2,419	181	104	1,321	4,027	△651	3,376

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△598百万円、のれん償却額△59百万円及び未実現利益調整額8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高							
外部顧客への 売上高	15,870	20,301	1,581	2,666	40,420	—	40,420
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	323	—	202	24	549	△549	—
計	16,193	20,301	1,783	2,690	40,969	△549	40,420
セグメント利益	2,378	448	89	1,191	4,107	△596	3,510

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△601百万円、のれん償却額△0百万円及び未実現利益調整額5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。